

— 株主のみなさまへ —

BUSINESS REPORT

2022.4.1 ▶ 2023.3.31

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花



imuraya group

第86期 報告書

あずきの皮使用



あずき混抄紙 紅金剛

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

べにこんごう

証券コード 2209



代表取締役会長 (CEO) 中島 伸子
代表取締役社長 (COO) 大西 安樹

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション (社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・すぐれたサービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン (ミッションを果たす道程)

「Be always for Customers!」

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション (情熱、心意気、行動)

「イノベーション (革新)」

イノベーションには常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第86期(2022年4月1日～2023年3月31日)を終了し株主報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度における日本の経済環境は地政学的なリスクの継続、原材料・エネルギー価格の高騰や世界的な金融引き締めなど、景気の先行きは不透明な状況が続き、今後も厳しい経営環境が想定されます。

このような厳しい経営環境の中、みなさまのおかげで当社グループは昨年、創業125年・会社設立75周年の記念年次を迎えることができました。

従業員一同、歴史の重みを感じながら「おいしい!の笑顔をつくる」というグループミッションをパーパスとし、各課題を乗り越えるべく一丸となって活動してまいりました。

その結果、国内の事業会社を中心に順調に売り上げを伸ばし、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益ともに過去最高の業績となりました。

2023年度におきましては中期3カ年計画「Be Resilient 2023～新しい時代をしなやかに生きる～」の最終年度を迎え、アフターコロナ

の市場環境を読み解き着実な成長を遂げてまいります。

また、今年は1973年から販売している『あずきバー』が発売50周年を迎えます。これを機に『あずきバー』シリーズの商品規格を現代のニーズに対応できるように見直しました。今後も『あずきバー』シリーズのさらなる拡売を図ってまいります。

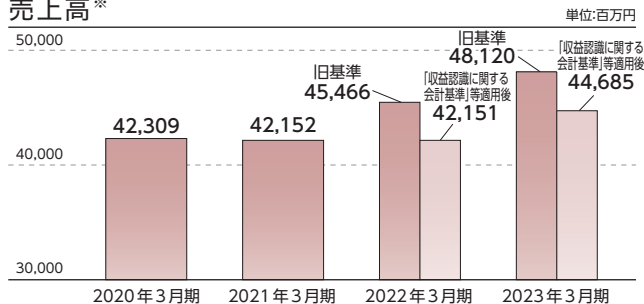
2023年3月には三重県津市あつのつ台に竣工した新工場「あつのFACTORY」が稼働を開始しました。お客様の健康に寄与するSOY事業や米国向けの輸出が好調な焼菓子(カステラ)、伸長しているEC市場に向けた商品の専用供給体制を確立し、当社グループの成長分野の新・供給基地としてまいります。また、調味料事業の粉末加工拡大に向け、スプレードライヤー新工場の建設を進めております。

今期においても着実な市場の拡大や、生産性向上とコスト改革を進めながら、社会から求められている商品の開発や社会課題の解決に積極的に取り組み、さまざまなニーズに柔軟に対応できる井村屋グループとなるべく企業価値向上に努めてまいります。

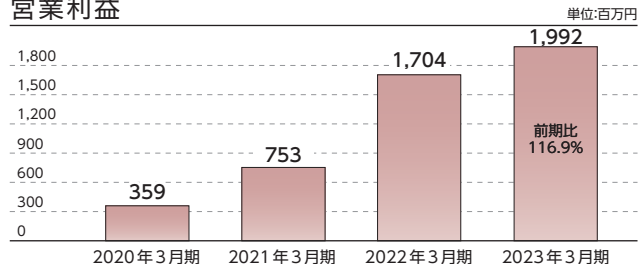
株主のみなさまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

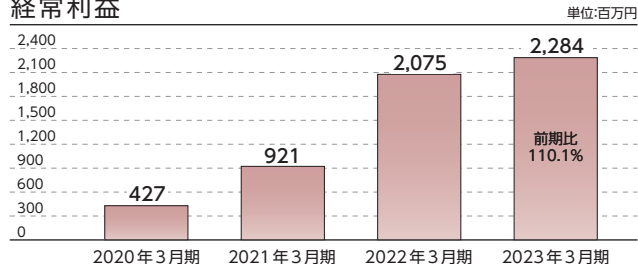
売上高※



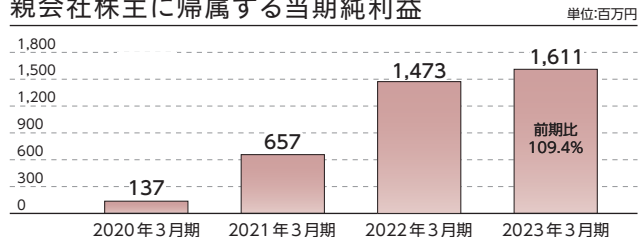
営業利益



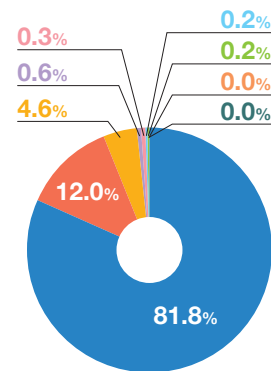
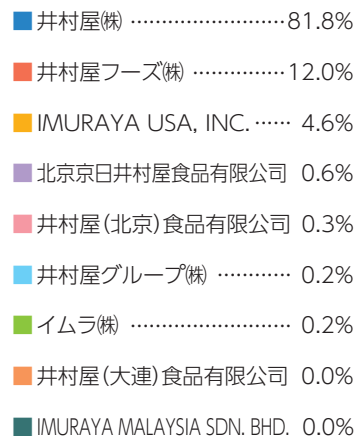
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



持株会社及び事業会社別の売上高



井村屋グループ中期3カ年計画

Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～

井村屋グループは2021年度より「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」がスタートしております。新しい時代で生き残っていくため、この中期3カ年計画の変革課題を「バランス経営」と定めています。しなやかでバランスのとれた経営を行い、持続可能な「継栄」を目指して、目標達成に向けて邁進してまいります。

2024年3月期 目標

<財務指標>

- 売上高 465億円
- 営業利益 20億円
(売上営業利益率 4.3%)
- 海外事業売上高比率 7.5%

<非財務指標>

- 温室効果ガス排出削減
2013年度比 35%減
- 国内事業廃棄物量削減
2019年度比 50%減
- 女性管理職比率 15%以上

※当社は、2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、当該基準に基づいた指標となっております。

連結貸借対照表(要約)

	前連結会計年度 2022年3月31日	当連結会計年度 2023年3月31日
(資産の部)		
流動資産	10,739	12,735
現金及び預金	1,069	1,689
売掛金	5,188	5,506
棚卸資産	3,672	4,442
その他	809	1,098
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	18,683	21,371
有形固定資産	15,811	18,347
無形固定資産	119	169
投資その他の資産	2,751	2,854
資産合計	29,422	34,107
(負債の部)		
流動負債	10,378	12,920
固定負債	1,651	2,502
負債合計	12,030	15,422
(純資産の部)		
株主資本	14,963	16,224
その他の包括利益累計額	2,384	2,428
非支配株主持分	44	31
純資産合計	17,392	18,684
負債・純資産合計	29,422	34,107

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT1 資産

販売増加に伴う現預金及び売掛金、棚卸資産の増加などにより、流動資産が増加いたしました。また、新工場建設に伴い有形固定資産が増加し、固定資産が増加いたしました。

POINT2 負債

新工場建設に伴う未払金や短期借入金の増加などにより、負債が増加いたしました。

POINT3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより、純資産が増加いたしました。

連結損益計算書(要約)

	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	42,151	44,685
売上原価	27,344	29,073
売上総利益	14,807	15,611
販売費及び一般管理費	13,102	13,618
営業利益	1,704	1,992
営業外収益	400	321
営業外費用	29	29
経常利益	2,075	2,284
特別利益	239	611
特別損失	92	412
税金等調整前当期純利益	2,222	2,483
法人税等合計	739	884
当期純利益	1,483	1,599
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	10	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	1,473	1,611

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT1 夏場の冷菓カテゴリーや冬場の「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーが好調に推移し、米国向けのカステラの売上が増加しました。調味料事業ではOEM受託商品の売上が順調に推移しました。
- POINT2 生産性向上活動の継続によりコストの抑制が図られ、営業利益が増加しました。
- POINT3 円安による為替の影響や輸出促進に関する補助金収入などにより、当期純利益は前期を上回りました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	前連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,911	2,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 958	△ 2,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,048	398
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 30	509
現金及び現金同等物の期首残高	1,099	1,069
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	109
現金及び現金同等物の期末残高	1,069	1,689

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)
前期に比べ、売上債権及び棚卸資産の増加により、収入が減少いたしました。
- POINT2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)
前期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加いたしました。
- POINT3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)
前期に比べ、短期借入による収入が増加いたしました。

連結売上高

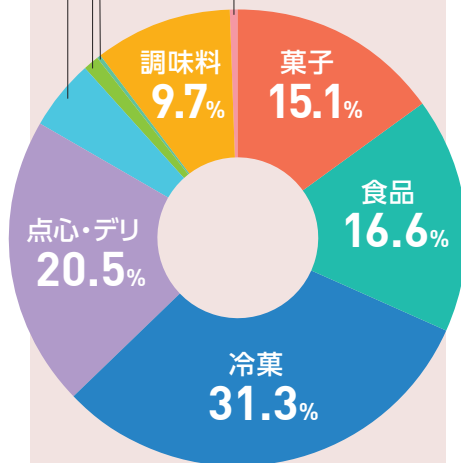
44,685百万円

デイリーチルド 4.9%

スイーツ 1.1%

VISON 0.3%

その他 0.5%



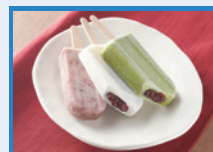
菓子 6,731百万円
(前期比1,361百万円(25.4%)増)

防災用備蓄商品として評価の高い「えいようかん」や「4コ入きなこおはぎ(つぶあん)」などの冷凍和菓子シリーズが伸長しました。また、IMURAYA USA, INC.では日本から輸入したカステラの売上が大きく増加しました。



食品 7,433百万円
(前期比487百万円(7.0%)増)

「お赤飯の素」や「カップおしるこ」が好調に推移しました。冷凍食品では「ゴールドまん」シリーズや「井村屋謹製 カリーぱん」が伸長しました。また、井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では屋外活動の活発化に伴いカロリーやビタミン補給のゼリー飲料であるスパウチ受託加工が増加に転じました。



冷凍 13,988百万円
(前期比441百万円(3.1%)減)

冷凍商品は、2023年度に発売50周年を迎える「あずきバー」シリーズが順調に推移し、売上金額は前期比103.4%となりました。また、「やわもちアイス」シリーズの10周年限定商品が売上に貢献しました。マレーシアのIMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.においては現地の嗜好に合わせて開発した「AZUKI BAR」シリーズや新商品「Mochi Mochi」シリーズの販路拡大に取り組みました。IMURAYA USA, INC.では、販売促進の効果を見直した事により、売上が減少しました。



点心・デリ 9,178 百万円
(前期比688百万円(8.1%)増)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、コンビニエンスストアでの商品が好調に推移するとともに販売店様と共同企画した新商品も好評をいただき売上が増加しました。



デイリー・チルド 2,208 百万円
(前期比274百万円(14.2%)増)

「豆腐類」では「4個入り美し豆腐」が好調に推移するとともに、独自の殺菌技術により長期保存が可能な「大豆屋和蔵 大豆ッ子」の輸出売上が増加しました。「チルドパックまん」は「3コ入りチルドまん」シリーズの売上が増加しました。



スイーツ 478 百万円
(前期比71百万円(17.5%)増)

「アンナミラーズ」は2022年8月31日に40年間ご愛顧いただいた「高輪店」を閉店しましたが、その後催事販売としてJR高円寺駅1F改札外とJR川口駅2F改札外の期間限定ショップ「コレもう食べた?」に出店し、売上とともに「アンナミラーズ」ブランドの維持に貢献しました。また、「La maison JOUVAUD(ラ・メゾン・ジュヴァー)」では各店舗ともコロナ禍から着実に集客数が回復し売上が増加しました。上質でスタイリッシュな居住地として注目される「虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー」2階に新たに outlets した「ジュヴァー虎ノ門ヒルズ店」においても新作商品の「ビスキュイ」や「カヌレ」、「ロカイユ」が好評をいただいております。



VISION 117 百万円
(前期比38百万円(48.9%)増)

国内新規事業として2年目を迎えたVISION カテゴリーでは、三重県多気町の大型商業リゾート施設「VISION(ヴィソン)」内に三重県の水と酒米、酵母を使用し、テロワールに根差した日本酒「福和蔵(ふくわくら)」の製造・販売と、「菓子舗井村屋」として「酒々(ささ)まんじゅう 芳醸集」など特色のある商品を販売しており、「VISION(ヴィソン)」の来場者の増加も相まって、売上がともに伸長しました。「福和蔵」においては、「福和蔵 純米大吟醸」「福和蔵 純米酒」が高い評価をいただいており、3月1日からは三重県多気町産の契約栽培米「神の穂」を使用した「福和蔵 純米吟醸」の販売を開始しました。



調味料 4,331 百万円
(前期比43百万円(1.0%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、家庭内食向けの調味料と機能性素材のOEMが堅調に推移しました。中国での調味料事業は、新型コロナウイルス感染対策強化の影響により、売上が減少しましたが、ゼロコロナ政策が撤廃され、今後の展開には期待が持てる段階に入りました。



その他 216 百万円
(前期比9百万円(4.8%)増)

イムラ株式会社において井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は、感染防止対策の徹底とお客様へのサービス向上に取り組みました。「ソフトアイスクリーム&スイーツ店WaiWai(ワイワイ)」においては、「アンナミラーズ」の「アップルパイ」「チェリーパイ」の取扱いを開始し、好評を得ております。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,919株を含む)
単元株式数	100株
株主数	11,428名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,209	9.24
株式会社三十三銀行	647	4.94
株式会社百五銀行	578	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	559	4.27
井村屋取引先持株会	546	4.17
株式会社サンライフ	321	2.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	314	2.39
株式会社りそな銀行	286	2.18
株式会社西村商店	239	1.82
株式会社榎本武平商店	214	1.63

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

2023年12月以降発行予定の「中間報告書」
並びに「報告書」のお知らせ

株主のみならず半期ごとにお送りしている「報告書」は印刷・郵送を行わず、当社ホームページへの掲載のみとさせていただきます。井村屋グループは今後も資源保全や温室効果ガスの排出削減など環境課題への取り組みを進めてまいります。何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

過去の報告書はこちらからご覧いただけます▶
URL:
<https://www.imuraya-group.com/ir/library/report/>



株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬にお送りいたしております。以下は、2023年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋
オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト
次の3種類から一つお選びいただけます。

冷凍商品詰合せ



福和蔵 日本酒セット
純米酒/純米吟醸
各300ml



マイギフト MG-15



※②で冷凍商品詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

井村屋謹製 ピッツァ Pizzaぱん



焼き立てのおいしさが楽しめる人気冷凍パンシリーズから、『井村屋謹製 Pizzaぱん』が新登場。とろける3種のチーズと完熟トマトソースをもっちりとした生地で包んだ、本格的なピザぱんです。ご家庭にて、レンジで加熱した後にトースターで“リベイク”することで、焼き立てパンのような食感をお楽しみいただけます。朝食やブランチ、間食など、忙しい日々のちょっとしたご褒美にぴったりです。

やわもちアイス 抹茶氷



やわもちアイスシリーズ初のかき氷が新登場。「福寿園監修」の宇治抹茶を使用した微細氷のかき氷の上に、やわもちの特徴である冷凍下でもやわらかいおもち、抹茶氷と相性抜群な井村屋謹製のつぶあん、練乳ソースをトッピングした4層構造で、すっきりとした新食感の味わいに仕上げました。上品で贅沢な和風かき氷でぜひ夏を感じてください。

もっちりぷるんわらびもち ぶどう



▼「ギュッと押すだけパッケージ」使用商品



当社独自の「ギュッと押すだけパッケージ」シリーズより、新たにぶどう味のわらびもちが登場しました。小容量で個包装、さらに押し出すだけで手を汚さずに食べられるパッケージでお手軽にお召し上がりいただけます。巨峰果汁を使用し、ぶどうの濃厚な風味と爽やかな酸味を楽しめる味わいに仕上げました。ぶどうの豊かな風味とぷるんとした食感で、手軽にほっと一息つける時間を提供いたします。

あずきバー発売50周年！よりシンプルにリニューアル

井村屋の代表商品である『あずきバー』は、「ぜんざいを凍らせたようなアイスができないか？」という発想から1973年に誕生し、2023年に発売50周年を迎えます。さらなる安全・安心とあずき本来の風味を追求した商品として、より一層ご愛顧いただけるようにリニューアルをしました。

リニューアルポイント

● あずきバー

原材料として使用していたコーンスターチをあずきパウダーに置き換えることで使用原料を減らしました。よりあずきの自然な味わいが感じられます。

● あずきバー ミルク

商品名を『ミルク金時バー』から『あずきバー ミルク』に変更するとともに、ミルクアイスには北海道産クリームを使用し、ミルクのコクが感じられ、やわらかい口当たりになりました。

● あずきバー 抹茶

商品名を『宇治金時バー』から『あずきバー 抹茶』に変更するとともに、「福寿園監修」の宇治抹茶を使用しました。また、抹茶アイスに乳原料を少し加え、口当たりもやわらかくなるように仕上げました。

あずきの風味を活かした親しみやすい味を守り続けてきた『あずきバー』シリーズは、これからも変わらぬおいしさをお届けしていきます。



また、50周年を記念し、当選者数を過去最大の5,050名とした「井村屋 大事な人とあずきバーキャンペーン」を実施中です。JCBギフトカードや国産和牛カタログギフトのほか、Wチャンス賞として、発売当時のあずきバーをデザインしたペアグラスなどが当たります。ぜひご応募ください。(第1回応募締切：2023年7月31日(月)、第2回応募締切：2023年9月30日(土)) さらに、あずきバー50周年専用サイトもオープン。あずきバーの固さのヒミツや歴史などを紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

◆ キャンペーンサイトURL：

https://imuraya-cp.jp/2023_box_azuki/

◆ あずきバー50周年専用サイトURL：

<https://imuraya-cp.jp/azuki-bar/>



あのつFACTORY 稼働

2023年3月に国内で5番目の生産拠点となる「あのつFACTORY」が稼働を開始しました。

井村屋グループは今後の国内外での成長戦略の中で輸出やEC販売への供給能力の向上、ロジスティック機能の強化など様々な課題に対応していく必要があります。

このたび、成長分野への商品供給基地としての位置づけで、AIやDXを取り入れ、市場競争力の高い新工場としてお客様への価値提供を推進してまいります。

◆工場写真



◆場所

三重県津市あのつ台一丁目 8 番 1 中勢北部サイエンスシティ内

◆敷地面積

21,827 m²

◆建築面積

7,112 m²

◆工場のコンセプト

- ① 環境にやさしく持続可能な夢のある食品工場
- ② 成長カテゴリーの供給基地(SOY、焼菓子、EC商品)
- ③ AI・DXを活用したコストダウンへの取り組み
- ④ SCM機能を強化したベストコミュニケーションファクトリー

お客様の健康に寄与するSOY事業はロングライフ豆腐を中心に業務用ルート・輸出拡大を進め、さらには豆乳を活用したデザートや生産副産物である「おから」の惣菜化など新しい展開を進めています。

また米国向け輸出が好調な焼菓子(カステラ)や購買手法として伸長しているEC市場に向けた商品の専用供給体制を確立し成長を担う取り組みとするほか、菓子・食品包装部門を集約しコストダウンにつなげていきます。

多様なカテゴリーが「あのつFACTORY」に集うことから、井村屋グループ共通のミッションである「おいしい!の笑顔をつくる」に挑戦する仲間と優れたコミュニケーションを発揮し、新価値創造へ挑戦してまいります。

◆生産機能

- SOY(豆腐)製造・包装ライン



- 焼菓子(カステラ等)製造・包装ライン



- スイーツ

(Anna Miller's / La maison JOUVAUDブランド商品各種)
製造・包装ライン



アップルパイ



カステラ

- ギフト、ようかん包装、EC向けピッキングライン



トルコ・シリア地震への寄付

2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震の復興を支援するため、従業員からの募金などを通じ、井村屋グループは日本赤十字社三重県支部に対し救済金100万円の寄付を実施いたしました。これらの救済金は、被災された方々や被災地での支援活動にお役立ていただきます。このたびのトルコ・シリア地震で被災されたみなさまの安全と、被災地の1日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



令和4年秋の叙勲にて「旭日双光章」受章

浅田剛夫は、2003年から代表取締役として井村屋グループ全体を牽引し、企業価値向上を図ってまいりました。

また、社外活動では全日本菓子工業協同組合連合会副理事長など業界団体の発展に尽力し、津商工会議所の常議員・同副会頭など地域経済の活性化に寄与してきました。

現在においても地域の若手経営者に対し、講演会や勉強会を継続して企画するなど後進の育成にも力を注いでいる功績が認められ、今回の受章にいたりしました。



井村屋×福寿園の取り組みに関する記者発表会

2023年2月22日に京都の老舗茶舗である株式会社福寿園様と当社のブランドコラボに関する記者会見を実施しました。

2023年春夏の新商品『あずきバー 抹茶』『やわもちアイス 抹茶氷』『4コ入 抹茶クリーム大福(つぶあん)』には「福寿園監修」の宇治抹茶を使用しています。

あずきバーが発売50周年を迎えること、海外から抹茶人気の高まりを受けていることから商品のさらなるブラッシュアップに取り組み、コラボレーションが実現しました。

4コ入 抹茶クリーム大福(つぶあん)

もち・つぶあん・抹茶ホイップクリームの3層構造で包んだ、デザート仕立ての大福です。
「福寿園監修」の宇治抹茶を使用しました。

※春夏限定商品



ブランドコラボ記者発表会にて
弊社 浅田会長(現:取締役会議長) (株)福寿園 福井社長

持株会社 概況(2023年6月23日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,576百万円
従業員数	42名 ※グループ全体では931名(2023年3月31日現在)
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO)…………… 中島 伸子 代表取締役社長(COO)…………… 大西 安樹 取締役 取締役会議長(COB)…………… 浅田 剛夫 取締役副社長…………… 岩本 康 取締役副社長(CFO)…………… 富永 治郎 常務取締役…………… 岩上 真人 取締役…………… 近藤 久嗣 取締役…………… 益川 博 取締役(社外)…………… 田中 里沙 取締役(社外)…………… 福谷 朋子 取締役(社外)…………… 田中 洋 常勤監査役…………… 脇田 元夫 常勤監査役…………… 森井 英行 監査役(社外)…………… 若林 正清 監査役(社外)…………… 土田 繁 執行役員専務…………… 甲斐下方俊 執行役員常務…………… 行方 貞彦 執行役員常務…………… 井村 慎 執行役員常務…………… 岡田 孝平 執行役員…………… 尾崎 弘二 執行役員…………… 平田 裕一

(注)取締役田中里沙氏・福谷朋子氏・田中洋氏の3氏は社外取締役であります。監査役若林正清氏・土田繁氏の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト -----
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ -----
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter -----
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式YouTube -----
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2023年6月23日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社 -----
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツ、酒類の製造販売
代表者：岩本 康、益川 博 URL：<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社 -----
所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
代表者：菅沼 重元、近藤 久嗣 URL：<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社 -----
所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代表者：岩上 真人 URL：<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司 -----
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼103
事業内容：調味料の販売
代表者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司 -----
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼102
事業内容：菓子、点心・デリの販売
代表者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC. -----
所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷凍の製造販売及び菓子、食品、冷凍の輸入販売
代表者：甲斐下 方俊(COO) URL：<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司 -----
所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：菓子、調味料の製造販売
代表者：大西 由晃、上田 長平 URL：<http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司 -----
所在地：中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容：中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代表者：大西 由晃 URL：<http://www.imuraya.cn/icm/>

井村屋スタートアッププランニング株式会社 -----
所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代表者：大西 安樹

IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD. -----
所在地：Unit 32-01, Level 32, Tower B, The Vertical Corporate Towers, Avenue 10, Bangsar South, No. 8, Jalan Kerinchi, 59200 Kuala Lumpur
事業内容：冷凍の製造、販売、輸出入
代表者：大西 安樹、小川 篤(MD) URL：<https://www.imuraya.com.my/>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



ありがとう
50年

おいしい！の笑顔をつくる